

アー ユー レディ？

Are you ready?

穂波西中学校学校通信

令和7年8月6日第7号

穂波西中学校校長 森本泰史

この夏、各部活動での生徒たちの活躍は素晴らしいものでした！

～陸上部 丸山夏央さん(3年)、地区大会・筑豊大会・県大会で優勝。九州・全国大会出場決定！～

～水泳部 田中望夢さん(3年)800m自由形で筑豊大会優勝～

～軟式野球部、男子バスケットボール部、男子卓球部が地区大会で優勝～

～吹奏楽部が九州吹奏楽コンクール筑豊支部予選で金賞～

～美術部 長嶋果乃さん(3年)歯・口の健康に関するポスターコンクールで会長賞～

6月7日(土)から始まった夏の部活動の活躍は、どの部活動も穂波西中学校の伝統をつなぐ、とっても輝かしい結果となりました。なかでも、陸上部丸山夏央さん(3年)は、走高跳に出場し、自己記録を更新(1m63cm/現時点で全国ランキング6位)するとともに、8月8日から鹿児島県で開催される九州中学校総合体育大会、8月16日から沖縄県で開催される全国中学校総合体育大会の出場を決めました。



また、応援に来てくれた同級生や後輩のみなさん、そして、出場した選手やベンチから大きな声援を送る仲間たちみんなが、全力で己の力を出し切ったそんな姿がとても大きな姿に見えました。これまで、汗や涙を流し、仲間たちと過ごしたかけがえのない時間が、チームの想いとして形となり、この夏の最高の思い出となったと思います。

生徒の皆さん、皆さんが頑張った姿は、応援してくれた保護者の皆さんや地域の方々に、本当に夢や希望を届けてくれたと思います。ありがとうございました。

まだ、上位大会に出場する部・個人はありますが、現時点での、生徒達の活躍の結果をお知らせします。

軟式野球部	◇嘉麻・嘉穂・飯塚地区中学校総合体育大会優勝 ◇筑豊地区中学校総合体育大会1回戦敗退
陸上部	◇嘉麻・嘉穂・飯塚地区中学校総合体育大会 (丸山夏央) 走高跳優勝 記録 1m57cm ◇筑豊地区中学校総合体育大会 (丸山夏央) 走高跳優勝 記録 1m63cm (自己ベスト) (田中瑠) 共通男子3000m3位(県大会出場) (諸富新汰) 共通男子400m5位(県大会出場) ※丸山さんの記録は、現時点で、全国6位の記録 ◇第77回福岡県中学校総合体育大会 (丸山夏央) 走高跳優勝 記録 1m60cm ◇九州地区中学校総合体育大会 (丸山夏央) 8月8日より鹿児島県にて開催 ◇全国中学校総合体育大会 (丸山夏央) 8月16日より沖縄県にて開催 ◇福岡県中学校選手権大会 (丸山夏央) 走高跳優勝 ◇第71回全日本中学校通信陸上競技大会福岡県大会 (丸山夏央) 走高跳準優勝

男子バスケットボール部	◇嘉麻・嘉穂・飯塚地区中学校総合体育大会 優勝 ◇筑豊地区中学校総合体育大会準優勝 ◇福岡県中学校総合体育大会ベスト 8
女子バスケットボール部	◇嘉麻・嘉穂・飯塚地区中学校総合体育大会準優勝 ◇筑豊地区中学校総合体育大会 1 回戦敗退
男子卓球部	◇嘉麻・嘉穂・飯塚地区中学校総合体育大会 優勝 ◇筑豊地区中学校総合体育大会準優勝 ◇福岡県中学校総合体育大会ベスト 1 6
女子卓球部	◇嘉麻・嘉穂・飯塚地区中学校総合体育大会第 3 位 ◇筑豊地区中学校総合体育大会 2 回戦敗退
水泳部	◇嘉麻・嘉穂・飯塚地区中学校総合体育大会 (田中望夢) 8 0 0 m 自由形準優勝/ 4 0 0 m 自由形準優勝 (末廣健成) 5 0 m 自由形/ 2 0 0 m 個人メドレー予選突破 ◇筑豊地区中学校総合体育大会 (田中望夢) 8 0 0 m 自由形 優勝 (末廣健成) 5 0 m 自由形/ 2 0 0 m 個人メドレー予選敗退 ◇福岡県中学校総合体育大会 (田中望夢) 8 0 0 m 自由形第 4 位 4 0 0 m 自由形第 5 位
男子バレーボール部	◇嘉麻・嘉穂・飯塚地区中学校総合体育大会第 3 位 ◇筑豊地区中学校総合体育大会第 6 位 ◇福岡県中学校総合体育大会 1 回戦敗退
女子バレーボール部	◇嘉麻・嘉穂・飯塚地区中学校総合体育大会予選リーグ敗退
男子ソフトテニス部	◇嘉麻・嘉穂・飯塚地区中学校総合体育大会 予選リーグ 2 位/決勝トーナメント 1 回戦敗退
女子ソフトテニス部	◇嘉麻・嘉穂・飯塚地区中学校総合体育大会 予選リーグ 3 位/決勝トーナメント 1 回戦敗退
吹奏楽部	◇第 7 0 回九州吹奏楽コンクール筑豊支部予選 金賞 ◇福岡県吹奏楽コンクール 8 月 1 0 日福岡サンパレスにて開催
放送部	◇第 4 5 回福岡県中学校放送コンテスト筑豊地区大会 (井桁沙月) アナウンス部門入賞 (県大会出場) ◇福岡県中学校放送コンテスト出場
美術部	◇歯・口の健康に関する図画・ポスター標語コンクール 図画・ポスターの部 (長嶋果乃) 会長賞 (手島優太) 入選

8 月 3 日コスモスコモンにて「飯塚市少年の主張大会」が開催！

～**柚木崎華さん(1年)、岩崎ひいなさん(2年)**が想いをもって主張しました！～

8 月 3 日（日）に飯塚市少年の主張大会が開催されました。

本校からは、柚木崎さんと岩崎さんが発表しました。内容をご紹介します。



～ 題名「これからもずっと」 柚木崎華さん（1 年）～

私には、一生忘れることができない思い出があります。それは、小学校の卒業式の日のことです。卒業式の日を通して、私は周りの人たちに感謝することの大切さを学びました。

私のお母さんは、仕事が大変でいつも疲れていました。そんな中、お母さんは毎日、休むことなく家事をしてく

れたり、ご飯を作ってくれたりしました。私は、そんなお母さんの力になりたくて、毎日お手伝いをしていました。でも、家に帰ってお母さんを前にすると、そんな気持ちはどこかに飛んでいってしまっ、喧嘩をすることもありました。お手伝いを面倒くさいと思ってしまっ、態度に出してしまうこともありました。

そんな日々が続く中、もうすぐ小学校も卒業という一月の終わり、家庭科の授業でお母さんに日頃の感謝の気持ちを込めて何かプレゼントを作るという授業がありました。それは、お母さんには内緒で卒業式の日サプライズするという、感謝の気持ちを伝えるのにはぴったりの授業でした。その上、手紙も書くと言われたので、私は、感謝の気持ちを手紙いっぱい書こうと決めました。

そして迎えた卒業式当日。卒業式が終わり、最後の授業で、私はお母さんに手紙を読んでプレゼントを渡しました。手紙を読んだとき、私は今までのたくさんの思い出や感情が溢れてきて、泣いてしまいました。私が手紙を読む途中で泣いてしまったとき、お母さんはやさしく、「ゆっくりでいいよ」と言って、最後まで聞いてくれました。そして、読み終わる頃には、お母さんも私も大泣き。きっと、お母さんにも、私の思いは届いたと思います。

でも、私は、卒業式の日「しか」感謝の気持ちを伝えることができていません。今の生活を振り返ってみると、家に帰って、お風呂に入り、ご飯を食べて、勉強や宿題をして寝て、起きてのくり返しです。家に帰ってすぐお風呂に入れるのは誰のおかげでしょうか。そう、お母さんです。それでは、お風呂から出て、すぐにご飯を食べることができるのは誰のおかげでしょう。それも、お母さんのおかげです。それなのにも関わらず、私はそれを当たり前のように捉えてしまっていました。

当たり前の生活、当たり前の日常。それは当たり前ではないということに私は気づきました。私は、周りの人たちの支えがあって今、当たり前の生活ができていたということを知りました。また、周りの人たちがいつまでも自分の周りにいてくれるとは限りません。

だからこそ、私は自分の周りの人たちや、自分を支えてくれている人たちに感謝しながら、生活していかないといけないと思います。そうしないと、きっといつか後悔すると思います。私は、お母さんに手紙を読んだときに、普段から感謝しておけばよかったと思いました。言葉にしないと、きっと自分の気持ちは伝わらないと思います。自分の中で感謝の気持ちがあっても、それが相手に伝わらなければ意味がないし、言葉だけでなく、行動に移すことも大切だと思います。

特別な機会以外でも感謝の気持ちを素直に伝えることができると、もっと良好な人間関係を築くことができると思います。だから、私は日頃からお母さんや、友達、親戚など、身の回りの人に感謝を伝えようと心がけています。そして、これからも続けていきたいと思っています。

～ 題名「見ようとしなければ」 岩崎ひいなさん（2年）～

皆さんは「LGBTQ」という言葉を知っていますか？私がこの言葉を知ったのは、約三年前でした。

その日私はテレビを見ていて、その時に偶然流れていた北九州市人権啓発推進センターが出している人権啓発CMに目が止まりました。そのCMでは「皆さんはLGBTQの人への理解がありますか？」という問いかけがされていました。問いかけに答えている人たちは皆揃って、「理解はあると思います。でも私の周りにはいなかった。」と言っていました。私がCMを食い入るように見ていると、そのCMには私の心に大きな変化を与えた言葉があったのです。それは、「いなかったんじゃない、言えなかったんだ。」

私はこの言葉を聞いてLGBTQに興味を持ち、そして、苦しんでいる人がたくさんいることを知りました。当時小学五年生だった私ですが、自分の心が大きく変化した出来事だったと言えます。

そのCMを見た数日後この話を友達にしました。その友達も「そんな言葉があるんだ。知らなかった。苦しんでいる人もいるんだね。」と言ってくれたのです。一年後、私は友達とLGBTQについて話す機会がありました。その中でお互いにLGBTQへのいろいろな思いを話し合い、理解し合えたことで、気持ちがとても軽くなったことを覚えています。心の中にある『人に話せない気持ち』というのは周りの人の理解や共感で少しずつなくなっていくんだなと思いました。

近年、日本ではジェンダーレスという言葉が全国に普及しています。ニュースなどでLGBTQについて目にすることも多くなったでしょう。実際に有名な芸能人が性的少数者（セクシュアル・マイノリティ）であることを公表した

り、SNS で同性愛を発信する人が増えたりと理解は深まってきたと言えます。しかし、日本で完全に性的少数者への差別がなくなったわけではありません。性的少数者というだけで仕事に就くことができなかつたり、医療サービスが使えなかつたりするという実態があきらかになっています。若い世代の性的少数者が多く、上の世代からの理解が少ないことがあるそうです。

また、国会議員の性的少数者に対する差別的発言に全国からの強い抗議が上がっているという報道がされていました。「ばかげたことだ。」「見るのも嫌だ。」「隣に住んでいるのは嫌だ。」などの性的少数者を侮辱するような発言があったのです。これからの日本の明るい未来を担っている国会議員がこのような発言をしても良いのかととても怒りを感じました。

性的少数者というだけで世間から一線を引かれてしまう、そんな生活をしている人が十人に一人から十三人に一人という割合でいるそうです。自分が性的少数者だからといって自分の気持ちを抑え込んでいる人や他人からの誹謗中傷に苦しんでいる人、友達からのいじめを受けている人など人それぞれ色々な苦しみがあることを知りました。

性的少数者に対する考え方は変わりつつありますが、差別が完全になくなっているわけではありません。それは、「男だから」「女だから」という考え方が強く根付いているからです。実際私も「男の子だから」「女の子だから」と差別されたこともしてしまったこともあります。だから、この差別をなくしていくために、「性はグラデーション」という考え方を広めていくべきだと考えます。「性」は、男性と女性の二つに分けられるものではなく、濃淡があるグラデーションで、多様な表現が存在するのです。私は、この考え方を SNS を通してたくさんの人に伝えていきたいです。また、性的少数者を「普通ではない」と見なす考え方もなくしていきたいと思います。そして「いなかったんじゃない、言えなかったんだ」という言葉をもっともっと広めていきたいです。現代の日本でも、偏見や差別は「完全になくなったわけじゃない。」ということ沢山のの人に知ってもらい、さらに理解を深めてもらいたいと思います。

見ようとしなければその人にしかない良さに気づくことはできません。自分から、その人にしかない良さを見ようとしてみるといいかもしれません。

「みんなちがってみんないい」

金子みすゞさんの言葉にあるように、私たちはそれぞれの良さを互いに尊重すべきです。共感し、受け入れ、傷つけない、そんな人が増え、誰もが違いを認められる、そんな日本にするために、私は今自分にできることから頑張っていきます。

色々な経験を経て、子ども達は成長していきます。柚木崎さんのお母さんに対する感謝の想い、ひよっとすると同じ想いや経験のある生徒の皆さんもいると思います。改めて感謝することの大切さを感じさせられました。岩崎さんは現代社会が抱える大きな人権問題が内容になっています。岩崎さんの差別に対する考えや想い、共感する人も多いと思います。二人の発表内容を読んでいただき、ご家庭でも二人の素晴らしい発表内容について、お子様と話をしていただきたいと思います。

～今後の予定～

学校閉庁日	8月12日～15日	※学校が完全に休業となります。
学習出校日	8月25日（月）、26日（火）、27日（水）の3日間	※12：00下校を予定しています。
高校体験入学	嘉穂東高等学校	8月23日（土）9：00より
	嘉穂高等学校（理数）	8月30日（土）9：00より



9月1日（月）から2学期のスタートです。

各学年ともに課題の提出物など、しっかり確認をしてください。

また、9月1日（月）たしかめテスト、9月2日（火）は夏課題テストを行います。

準備をしっかりとしましょう。Are you ready?